

# 福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第2回体験イベント 「木もいろいろ。使い方もいろいろ。」

- 1 日 時 平成27年7月19日(日) 10:00~15:00
- 2 場 所 福井ふるさと学びの森(若狭町気山)
- 3 参加者 小学生親子等28名
- 4 内 容

## (1) 木のプチ教室

里山里海湖研究所の石井研究員から、木の育ち方についての説明がありました。説明といっても、堅苦しいものではなく、クイズや観察を行いながら、木の不思議を紹介していきます。

みなさん、木から出た枝は、木が伸びていくと、一緒に上の方に移動していくとご想像しますか？それとも、木が伸びても枝の出ている位置は変わらないとご想像しますか？

正解は、「木が伸びても枝の出ている位置は変わらない」です。実は間違えた人の方が多かったこのクイズ、大人も思わず「へえ〜」というプチ教室でした。



説明をする石井研究員



ルーペで切り株の年輪を観察

## (2) ネイチャーゲーム、ネイチャークラフト

ふるさと研究員でもある里山ねっこの萩原さんのもと、ネイチャーゲームとネイチャークラフトを楽しみます。ネイチャーゲームでは、配られた紙に書いてあるものを、森の中で探していきます。探し物の一つは「おいしそうなもの」、チョコレート色の木の枝をみつけたり、コケが生えた抹茶味の木の皮を観察します。

ネイチャークラフトは、1本のヒモと森にある材料でいろんなものを作ります。弓や石斧、ハーブやはしご等、いろんなアイデアで使い方をみつけます。



紙を見て探す物を確認します



思い思いに作る道具の数々

### (3) 野外料理(夏野菜カレー作り)

お昼はみんなで夏野菜カレーを作りました。カレーには真っ赤なトマトをふんだんに使います。

みんなで皮を剥いたトマトをカレーに入れ、薪でぐつぐつと煮立てます。トマトを入れて味がまろやかになったカレー、この日はうだるような暑い日でしたが、みんな熱々のカレーを残さず食べました。



たくさんのトマトの皮を剥きます



暑いやら煙が目にしみるやら、炊飯は大変

### (4) ミニミニ木炭づくり

ご飯を食べた後は、森の材料を使った木炭づくり。里山の木々は燃料として人の暮らしに利用されてきました。そんな話も聞きながら、今回炭にするのはドングリやまつぼっくり、クルミの実など、ちょっと可愛らしい材料です。作り方を説明してくださるのは森の名手・名人でもある木戸口さん。木炭づくりの話や炭の利用方法など、子供だけでなく大人も興味津々です。



作り方を説明する木戸口さん



材料を缶に入れ、火にかけます



材料を缶の中に入れて、炊飯に使った薪を使って火にかけます。出てくる煙から色が無くなったら出来上がり、缶を冷まして中身を取り出します。



出来上がった炭はおみやげに持ち帰って、ちょっとしたインテリアに。炭が消臭効果もあることの説明もあり、どこに飾るかみんなワイワイ話していました。